

災害 - その他の災害 - 落雷・竜巻

積乱雲が接近すると、竜巻や雷などが発生し大きな被害につながる可能性があります。積乱雲が近づく兆候に気がいたら、安全な場所へ避難しましょう。

積乱雲が近づくサイン

次のような現象が発生した場合は、安全な場所へ避難しましょう。



低く黒い雲が接近する



雷鳴や雷光が見える



冷たい風が吹く



強い雨やひょうが降る

竜巻が発生したら

竜巻の発生や接近に気がいたら、すぐに身を守るための行動をとりましょう。

◎屋外にいる場合

- 近くの頑丈な建物に避難
- 避難できる建物がない場合は物陰で身を守る
- 飛ばされるおそれのある車庫や物置、プレハブには避難しない



◎屋内にいる場合

- 1階の窓がない部屋に移動する
- 窓やカーテンを閉め、窓から離れる
- 机やテーブルの下で頭を守る



雷の音が聞こえたら

雷鳴が聞こえるなど雷雲が近づく様子がある時は、落雷の危険性があります。屋外にいる場合は、安全な場所へ避難しましょう。

◎安全な場所

- 建物の中、自動車やバスなど
- ※屋内にいる場合は、電気器具や天井、壁から1m以上離れましょう。



◎危険な場所

- ゴルフ場やキャンプ場、海岸などのひらけた平地
- 木の下や電柱のそば

※木や電柱のそばにいますと、落ちた雷が飛び移る可能性があるため、4m以上は離れましょう。



避難ができない場合は

安全な場所へ避難できない場合は、両足をそろえ膝を折って姿勢を低くし、つま先立ちで地面との接地面を少なくしましょう。また、鼓膜を守るために両手で耳をふさぎましょう。

災害 冬の防災

帯広市は積雪寒冷地であり、真冬には -20°C を下回ることもあります。雪や寒さを考慮した冬の防災対策が必要となります。

雪への備え

屋根からの落雪により、玄関や窓がふさがってしまい、避難口が確保できない可能性があります。玄関前はもちろん、窓の周辺もこまめに除雪をしておきましょう。屋根の雪下ろしは、転落事故のおそれがあるため、悪天候時は避け、命綱を着用のうえ、必ず複数人で作業するようにしましょう。



寒さへの備え

暴風雪や送電線への着雪により停電が発生する可能性があります。

帽子、手袋、ジャンパーなどの防寒具や停電時でも使用可能なポータブルストーブと燃料などを備えておきましょう。



冬に準備しておきたい非常持ち出し品リスト

- | | | |
|--|-------------------------------------|--------------------------------------|
| ☐ 防寒具(帽子、手袋、防寒着 など) | ☐ 防寒シート(アルミ) | ☐ ヘルメット(防災頭巾) |
| ☐ 衣類(厚手の長袖、長ズボン、厚手の靴下 など) | ☐ 携帯用ラジオ | ☐ 懐中電灯 |
| ☐ 電源を必要としない暖房器具、燃料 | ☐ 救急袋 | ☐ マスク |
| ☐ 毛布・カイロ | ☐ 現金、貴重品 など | |
| ☐ 食料、飲料水 | | |
| ☐ 常備薬、持病の薬 | | |
| ☐ 簡易トイレ | | |

車の備え

天気の急変などにより車が立ち往生することを想定して、防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認しましょう。

